

株式会社気仙沼ニットイング



代表取締役社長
御手洗 瑞子 氏

◆企業の概要

企業名：株式会社気仙沼ニットイング
代表者：代表取締役社長 御手洗 瑞子
住所：気仙沼市神山5-19
設立年：平成25年（創業：平成24年）
業種：ニット製品企画・製造・販売
資本金：10百万円
従業員数：1名

◆事業の概要

東日本大震災をきっかけに気仙沼を拠点として起業し、カーディガンなど手編み商品の企画・製造・販売を行う。地元の女性の編み手が一着一着手編みでつくるデザイン性の高い最高級のニット製品の「ハイエンド（high-end）・ブランド」を創出し世界を目指す、という新しいビジネスモデルとして期待される。



事務所の看板



最高品質のオリジナル毛糸

「編む」伝統習慣を活かし、気仙沼から世界を目指すハイエンド・ブランドの創出と被災地に女性の働く場を提供する新しいビジネスモデル



オーダーメイドのカーディガン
「MM01」（写真：操上和美）



「MM01」を編んでいる編み手さん



オリジナルの箱で梱包された
「MM01」



ベテランの編み手さんが指導している様子

◆受賞の理由

港町である気仙沼では、伝統的に「漁網の補修」、「漁師の防寒着であるセーターを編む」という習慣があり、「編む」という行為に親しみ深く、「ニット製品の手編み」は地域文化との親和性が高い。気仙沼のこの「編む」という伝統的な習慣を活かした本物でファッション性の高い「高価格帯オーダーメイドニット」の製作を行い、気仙沼発の世界に広がる「ハイエンド・ブランド」の創出を目指している。

最高水準のものを提供するため、原料の開発から商品のデザインまで現状最高と考える水準でものづくりを行っており、特注した最高品質のブレンド毛糸を用い、人気ニットデザイナーによる極めてデザイン性の高い商品を開発している。今年度は、熟練の編み手が限られており受注生産で対応しているが、カーディガン（“MM01”）1着14万7千円と高額であるにも拘らず、その品質の良さが評価され、募集を大幅に上回る申込みで抽選による受注としている。

特に編み手の技術力の高さが商品の評価を高めており、編み手の「誇り」となっている。現在、編み手は50～60代の女性が中心であるが、将来的には地元で働く女性が勤務後自宅で編み物をして副収入としたり、産休・育休中や結婚などによる退職後の仕事として、地域の若い女性の働き方のオプションの一つという新しい雇用機会の提供を目指している。また、熟練の編み手が新米の編み手を教えるトレーニングコースを開設しており、編み手のすそ野を広げる体制づくりを行うなど、将来の編み手の育成にも力を注いでおり、持続できるビジネスモデルとして高く評価できる。

当社のビジネスモデルは、内閣府の海外情報向けサイトにて「Made in New Japan」のモデルとして紹介され、また、ハーバード大学ビジネススクールの事例教材としても採用される予定であり、各方面からの評価も高い。

当社は、気仙沼から世界を目指すという目標を掲げ、地域の伝統に基づく習慣を活かした新たなビジネスモデルの創出により、気仙沼に持続的に収益をもたらす働くものが「誇り」を持てる女性の働く場を提供することで、地域の活性化と被災地での雇用創出においても着実に貢献し、大きく飛躍が期待できる企業である。